

五本木住区夏まつりとコラボした青山子ども会の方々にインタビューしました!



主催者 インタビュー

五本木住区住民会議青少年部会部長

田村秀樹さん

五本木住区夏まつりって?

五本木住区夏まつりは、もともと花火大会でした。五本木小学校の校庭が人工芝になって使えなくなっこことから、7年前内容を変えました。あまりの暑さに、体育館内でのゲームコーナーなどを昨年から校庭での水遊びに内容を変えました。しかし昨年は天候が悪く、今年も小雨で天気に恵まれていません。今年は、小雨に加えて寒さもあったので、縮小プログラムで体育館内と玄関など屋根のあるところでの実施となりました。雨さえ降らなければ校庭で思いきり水遊びができるのですが…五本木小の子どもたちに加え、幼い子や他校の子どもたちも遊びに来てくれていて、良かったと思います。

Q. どういう経緯で、青山子ども会とコラボしたのですか?
A. めぐろOGの香川さんつながりで、紹介していただきました。

Q. 大学生とコラボして、どうでしたか?
A. 大学生のお兄さん、お姉さんが子どもたちと一緒に近いので、遊びやすかったと思います。

Q. 去年から水遊びがテーマと聞きましたが、なぜそのテーマにしたのですか?また、そのテーマにしてどうでしたか?
A. 前は夏まつりを体育館でやっていたのですが、校庭は暑いのです「水をかけちゃう」ということで水遊びになりました。ただ、残念なことに昨年も今年も天気は雨です(笑)。

Q. 子どもの頃の将来の夢はですか?
A. あまり考えてこなかったですが、プロ野球の選手になりました。



取材:岩城正姫、磯尚大



青山学院大学の児童福祉ボランティア部です。現在は、大学1年生~4年生の約65名で活動していて、今年でなんと64年目を迎えました。めぐろOG編集員である香川さんの所属する青山子ども会を、今年のめぐろで取材してみました。

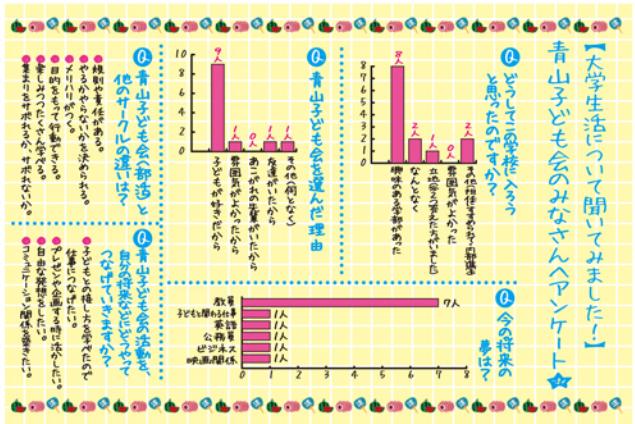
Q. 夏まつりは、うまくいきましたか?
A. 未就学児から小学生までいろいろな子どもたちが集まってくれて、「楽しかった」と言ってくれたので成功したと思います。また、学年別に時間を変えたりなど、臨機応変に対応できたのが良かったです。

Q. 夏まつりの準備期間はどれくらいかかりましたか?
A. 一番最初の打ち合わせは4ヶ月ほど前ですが、それまでにどういまつりに参加するのかというのを決める期間を含めると、去年の冬から半年以上かけて準備してきました。

Q. 夏まつりは、100点満点中何点だと思います?
A. 80点以上の点満点ですね。天候に左右されずあわてて準備したということもあり、説明に不備があったなどの悪い点があったので、改善していくたいです。

Q. 夏まつりに参加した感想を教えてください
A. 今回の活動の目標の一つに、「普段活動する場所(渋谷付近の小学校や児童館)とは違うところで活動する」ということがありましたから、新鮮な気持ちで活動することができました。いろいろな方とも関わることができて、楽しく平和に終わって良かったです。

Q. 夏まつりの楽しかった点、つづかれた点を教えてください。
A. 天候が悪いとのことで、前に急きょ企画を変更することになったので、そこからかかったです。水鉄砲やシャボン玉など、準備してきたものができなかったことが無念です。でも、本番のことを考えながら準備して、楽しかったです。



(五本木住区夏まつりに参加した感想)

いろいろな祭りにはありますがあまり参加したことなかったですが、とても楽しかったです。雨の中でもみんなが楽しそうで、またでてスパークルすごく、ヨーヨーなどのお祭りの定番や、工作、消防体験、しゃぼんなど、いろんな体験ができて久しぶりにはいらっしゃることができました(笑)。また、こういうお祭りの収納があつたら行きたいです。(若城)

あくにんの悪天候で、最大のイベントである水遊びが中止になってしまったが、結果的に良い夏まつりだったなと思いました。特に消防放水体験では、普段は絶対することのないような体験ができ、めぐろになりました。(磯)